

中国 ロシア共同声明を読み解く

関係強化して、西側の植民地主義とアメリカの軍国主義に対抗

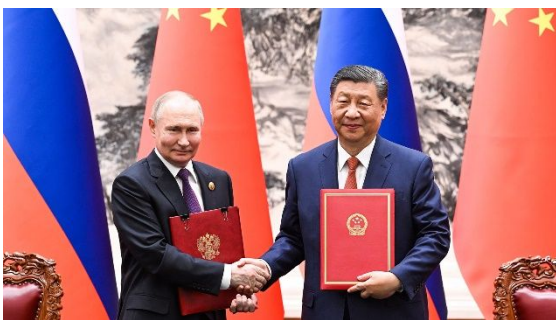
ベン・ノートン

ゲオポリティカル・レポート 2024年5月25日

[China & Russia strengthen friendship, blasting Western 'neocolonialism' & US militarism - Geopolitical Economy Report](#)

アメリカが中国とロシアへの制裁を強化するなか、ユーラシア大陸の両大国はますます接近している。

ロシアのプーチン大統領は5月16/17日中国を訪問し、北京で習近平国家主席と会談した。43回目の会談だった。そこで両首脳は、国交樹立75周年を記念する共同声明に署名。その中で、欧米の「植民地主義と覇権主義」を非難し、グローバルサウスの発言力を高めて、より多極化した世界をつくろうと呼びかけ、脱ドルとBRICSの拡大への支持を表明した。



以下は、この文書で取り上げられた主なポイントの要約である。

中露関係は「史上最高のレベル」

共同声明は、中露関係が「歴史上最高のレベルにある」こと、そして「このパートナーシップは一時的な措置ではない」ことを強調した。そのうえで、両国がすすめる「新時代に向けた協調の包括的戦略パートナーシップ」は「非同盟、非対立、第三国を標的としないことを特徴とする」と強調した。

ロシアは「一つの中国」原則への支持を表明し、台湾分離主義に反対した。中国は、ロシアの国家安全保障上の必要性を認め、内政への外部からの干渉に断固反対した。

グローバルサウスへの支援

このような公約は以前にもあったが、今回の声明で特徴的なことは、「グローバルサウスにおける新興大国の地位と力の上昇」をとりわけ強調したことだ。声明は、グローバルサウスの影響力の拡大によって「各国の発展の可能性と資源、機会の再分配を加速させ、新興市場と発展途上国の立場が有利になり、国際関係の民主化を促進する」ことができるとのべている。

この観点から、「アフリカとの国際協力」の強化をよびかけ、「アフリカの問題をアフリカのやり方で解決するために、アフリカ諸国を支援することに貢献する」とのべた。

また東南アジア諸国連合（ASEAN）との「協力の深化」と「アジア太平洋地域の多国間枠組みにおける ASEAN の中心的地位の強化の促進」を約束した。

ラテンアメリカ・カリブ海諸国共同体（CELAC）や南部共同市場（メルコスール）、米州ポリバル同盟（ALBA）といった重要な地域組織について言及し、「ラテンアメリカ・カリブ海問題に関する戦略的協力を強化する」という目標を確認した。（米主導の米州機構（OAS）への言及はなし）

「多極化する世界」

声明は、グローバルサウスの発言権拡大を主張しつつ、「覇権主義とパワー・ポリティクスを信奉する国々がこの流れに逆行し、国際法に基づく公認の国際

秩序を『ルールに基づく秩序』に置き換えて破壊しようとしている」と指摘した。

「多極化した世界が構築される過程にある」と強調し、「公平で秩序ある多極化した世界と国際関係の民主化」をよびかけた。そして「すべての国が自国の国情と民意に基づき、自国の発展モデルと政治・経済・社会システムを独自に選択する権利を有し、主権国家の内政干渉、国際法と国連安保理の承認に基づかない一方的な制裁に反対する」と強調した

「新植民地主義と覇権主義は、時代の潮流と完全に矛盾している」と指摘。アメリカとEUへの明確なメッセージとして、「対立的な政策をとり、他国の内政に干渉し、既存の安全保障構造を破壊し、国家間に『小さな庭』を築き、地域の緊張をあおってブロック対立を促進することをやめるよう」求めている。

声明は、共同訓練や演習を含め、両国間の軍事協力を深めることも約束した。

脱ドルと自国通貨建て貿易

中国とロシアはさらに脱ドル化を進め、「二国間の貿易、融資、その他の経済活動における自国通貨の割合を増やす」ことを計画していると述べた。

ロシアのラブロフ外相は4月、両国の二国間貿易の90%以上がすでに自国通貨である人民元とルーブルで行われていると報告した。米ドルとユーロはすでに取引からほぼ完全に排除されている。

英紙フィナンシャル・タイムズは今年5月、「中露の経済的なつながりは活況を呈している」と報じたが、二国間貿易は2023年に2400億ドルに達し、わずか1年で26%増加した。

2023年、ロシアはサウジアラビアを抜いて中国への最大の石油供給国になった。

BRICS の拡大と上海協力機構の強化

声明は、BRICS のさらなる拡大への支持を表明し、「既存の BRICS 協力メカニズムへの新規加盟国の統合を促進し、BRICS パートナー国間の協力形態を模索する」とのべた。また、「BRICS の精神を引き続き堅持し、国際情勢や課題への BRICS メカニズムの影響力を強化する」とした。

「BRICS 内の貿易取引での自国通貨、決済手段、プラットフォームの使用に関する対話を効果的に推進する」として、再び脱ドルを促した。

また「世界経済ガバナンス・システムにおける『グローバルサウス』諸国の代表を強化する」という呼びかけも支持。「アフリカ連合（AU）の G20 加盟を歓迎し、新興市場と発展途上国の共通の利益のために建設的な努力を惜しまない」と記している。

ユーラシアでも上海協力機構（SCO）のような新たな多国間組織を強化し、「公正で安定した新しい多極的国際秩序の構築により大きな役割を果たす」とした。

国連を中心とする国際法に基づくシステムを支える

西側の政府やメディアは、中国とロシアをしばしば既存の国際秩序に敵対する「修正主義」大国だと非難してきたが、中国とロシアはこの共同声明で、国連を中心とする国際法に基づくシステムの強化を呼びかけ。西側諸国の方がこのシステムをいわゆる「ルールに基づく国際秩序」という曖昧な概念に置き換えようとしていると批判し、その企てに反対する姿勢を明らかにしている。

声明は「より公正で安定した多極的な国際構造を構築し、国連憲章の目的と原則を無条件で完全に尊重・遵守し、真の多国間主義を守ることへのコミットメントを再確認した」と指摘。この立場の強化のために国連内に結成されている「国連憲章擁護友好グループ」の強化をよびかけた。

アメリカの軍国主義と「冷戦思考」を非難

声明は、アメリカが世界を軍国主義化していると批判し、「双方は、米国が絶対的な軍事的優位を維持するために戦略的安定を破壊しようとしていることに、改めて深刻な懸念を表明する」とのべた。

アメリカが「世界中へのミサイル配備を恒常化」しようとしているとし、「中国とロシアの安全保障を直接脅かすこれらの極めて不安定な措置を強く非難し、中国とロシアに対するいわゆる『二重の封じ込め』というアメリカの非建設的で敵対的な政策に対処するため、協調と協力を強化する」と付け加えた。「アメリカは冷戦的思考とブロック対立の様式に固執して、地域の平和と安定よりも『小さなグループ』の安全保障を優先し、地域のすべての国の安全保障に脅威をもたらしている」「アメリカはそのような行動をやめるべきだ」と述べた。

東アジアと朝鮮半島の平和

共同声明は東アジア情勢について、「軍事的プレゼンスを拡大し、軍事グループを寄せ集めて北東アジアのパワーバランスを変えようとするアメリカの試みに反対する」と強調した。

朝鮮半島情勢について、「アメリカとその同盟国が軍事分野で抑止行動を取り、朝鮮民主主義人民共和国（DPRK）との対立を誘発し、武力衝突につながりかねない緊張を悪化させることに反対する」と記した。そのうえで「アメリカにたいし、軍事的緊張を緩和し、有利な条件を作り出すための効果的な措置を取り、威嚇、制裁、弾圧をやめ、相互尊重と互いの安全保障上の懸念への配慮という原則に基づき、北朝鮮とその他の関連国間の交渉を促進するよう求める」と記し、「政治的、外交的手段が朝鮮半島のすべての問題を解決する唯一の方法」であることを確認した。

また、「様々な分野での AUKUS（米英豪三国間安保パートナーシップ）がアジア太平洋地域の戦略的安定にとってもたらす結果について深刻な懸念」を表明した。

宇宙の軍事化に反対

声明は「各国が宇宙空間を軍事化しようとする試みに反対する」ことを明確にし、「地球規模でまず宇宙空間に武器を配備しないという国際的イニシアチブ / 政治的コミットメントを推進する」ことで合意したと述べた。

「世界平和を維持するため、すべての国の平等かつ不可分の安全保障を確保する」と記した。

北から南への資金移転で気候変動と闘う

気候変動問題に関しては「国連気候変動枠組条約とそのパリ協定の目的、原則、制度的枠組みへのコミットメント」を再確認している。また、「世界の平均気温上昇を緩和し、気候変動の悪影響に適応するためには、先進国から途上国への資金支援が極めて重要である」と強調した。

さらに「プラスチック廃棄物による環境汚染に対処するための法的拘束力のある文書を作成するために、すべての締約国と協力する」ことを提案している。

(以上)

【翻訳チェック 田中靖宏】